

# Photo ふなばし



とくしゅう

おかげさまで60号

## Photoふなばし10年の歩み

MOVE

環境にやさしいまちづくり  
河川浄化施設、リサイクル施設稼動

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- サークル通信
- WE ARE IN FUNABASHI

まちなかの文化財／ふなばしの民話  
ペットインタビュー



市立看護専門学校卒業式

vol. 60

広報ふなばし写真版

# MOVE—環境にやさしいまちづくり

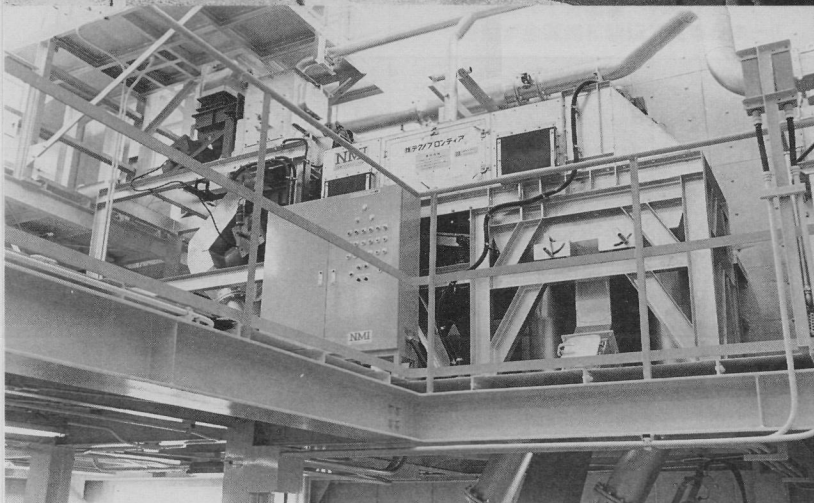
北部清掃工場

## 焼却残渣リサイクルプラント



水はけが良く路盤材としても利用することが出来るため用途は豊富です

骨材を利用して作られた製品



残渣から金属を分離する装置



残渣から金属や不純物を取り除き、大きさの違った骨材が出来上がります

船橋市では、ゴミを清掃工場で燃やした後に残る瀬戸物や石などの燃えかす（残渣）を、コンクリートの原材料となる骨材として再利用する方法を開発し、北部清掃工場内で実用化することになりました。この骨材は、現在使用されているコンクリート骨材や砕砂の代用品となるもので、鉢植え園芸用や透水コンクリート、駐車場への敷設など多方面での利用が考えられています。

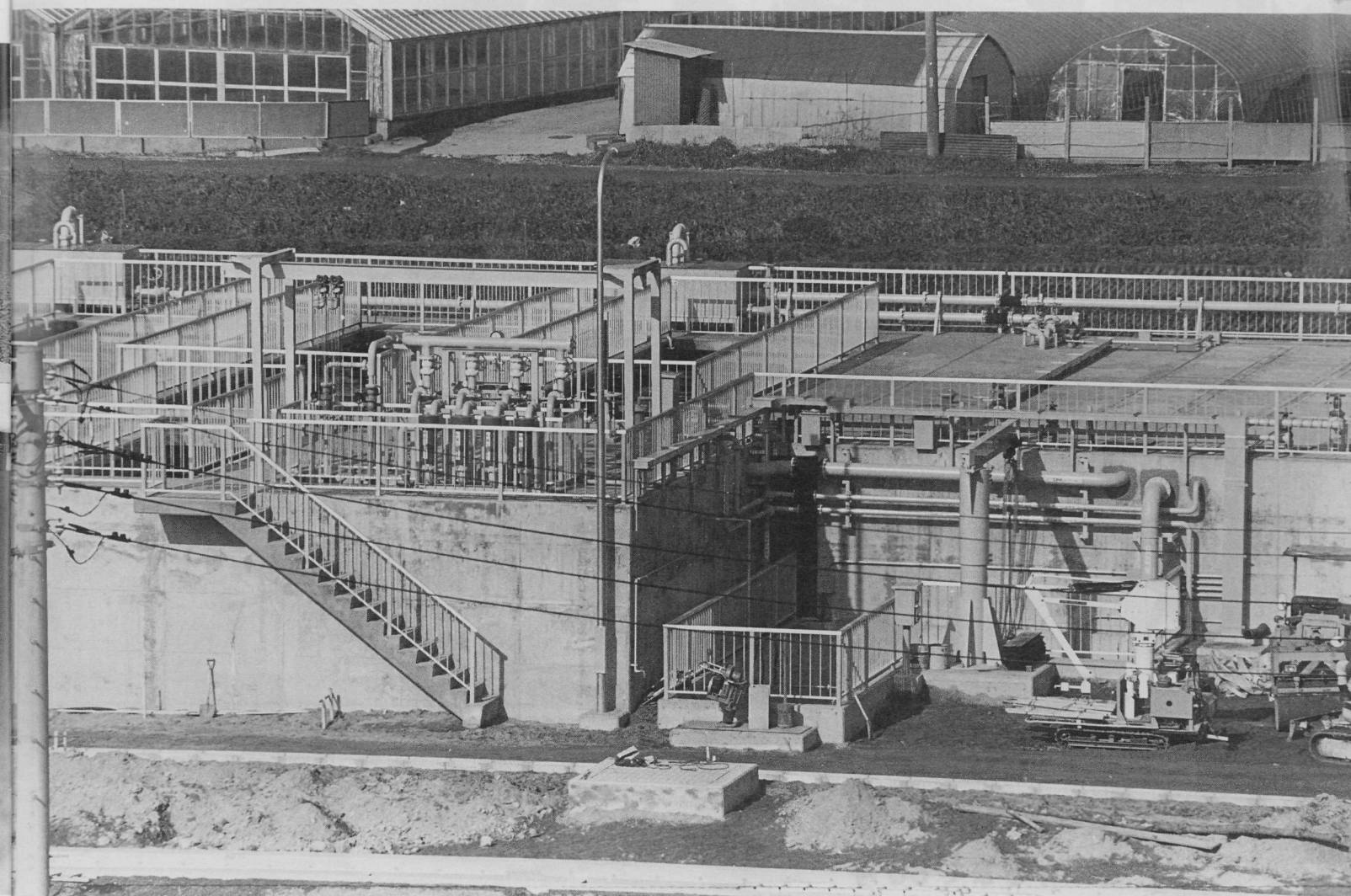
このように、ゴミから発生する不燃物を再利用するのは全国でも初めての試み。北部清掃工場では、年間約5000トンの残渣が発生しますが、このプラントの完成により、およそ8割の残渣が再利用されることになります。



北部清掃工場から排出される残渣の8割をリサイクルします

海老川支流

## 高根川浄化施設



全国でも最大規模、総事業費約9億円を投入した浄化施設。現況でBOD55mg/Lの水を10mg/Lに浄化することができます

2月22日、海老川の支流の高根川に河川浄化施設が完成し、竣工式（通水式）が行われました。この施設は、高根川を浄化することで海老川に少しでもきれいな水を取り戻そうと建設されたものです。処理能力は4600m<sup>3</sup>/日で、高根川の晴天時の全水量に当たり、市町村で設置したものではありません。また、処理には薬品を使用していないため、生物にやさしい処理ができます。工場排水の規制強化により、現在では、水質汚染の原因の9割は生活排水によるものとされています。市内の川にきれいな水を取り戻すためには、このような施設の整備だけでなく、市民の皆さん一人ひとりの心がけが大切です。



完成を記念して大橋和夫市長や関係者の皆さんにより敷地内の池にコイが放流されました

# Photoふなばし 10年の歩み

映像文化が発達し、活字離れといわれる今日にあって、写真を中心にした広報誌づくりがいち早く着眼し、昭和59年6月に創刊した「Photoふなばし」。隔月に発行して今回で60号となり、10周年を迎えることができました。創刊から、各町会・自治会の皆さんのご理解とご協力で、皆さんのご家庭に配付していただき、「Photoふなばし」の名前も定着しました。

写真を中心とした広報誌は、全国でもあまり例が無いようですが、それだけに広報課としても写真には熱がこもります。例えば、第35号で特集した「市立船橋高校全国高校駅伝」の組写真

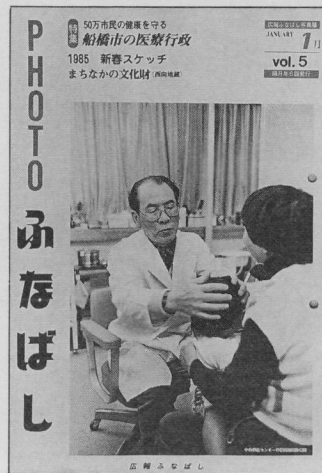
は、全国広報コンクールで最優秀賞を獲得。続いて第45号の特集「がんばれ！未来のナースさん」の組写真も千葉県広報コンクールで2年連続の第1位。今年度は、第57号の特集で「船橋二和高校演劇部」の組写真が、千葉県の代表として全国大会に出品されました。これからも、皆さんにお知らせしたい様々なニュースを、ベストショットでお伝えすると同時に、多くの皆さんに登場していただき、市民の皆さんのコミュニケーションづくりに役立ちたいと思っております。今回は、「Photoふなばし」と一緒に、市政の10周年を振り返ってみます。



昭和59年6月編集 創刊号  
市内東部地区の福祉の拠点として誕生した社会福祉会館を紹介



昭和59年10月編集 Vol.3  
特集は外国人英語指導助手



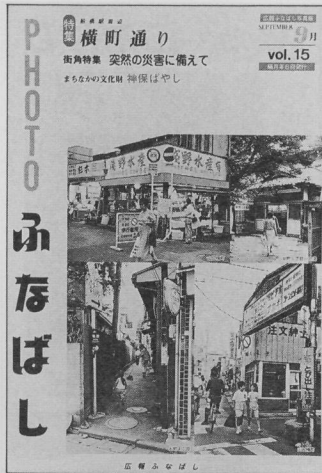
昭和60年1月編集 Vol.5  
先進的な船橋市の医療行政を紹介



昭和60年3月編集 Vol.6  
首都圏の物流の拠点、京葉港を紹介



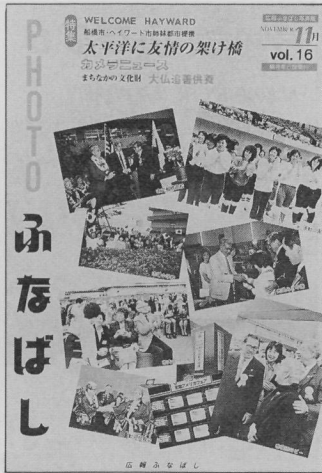
昭和60年9月編集 Vol.9  
銭湯の取材では人情に触れました



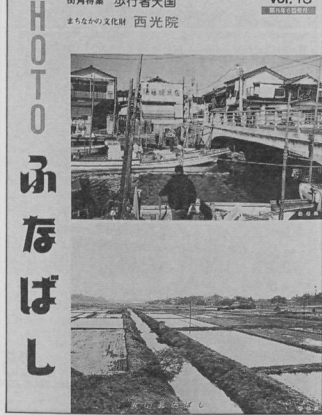
昭和61年9月編集 Vol.15  
「横町通り」では昔ながらの船橋を紹介



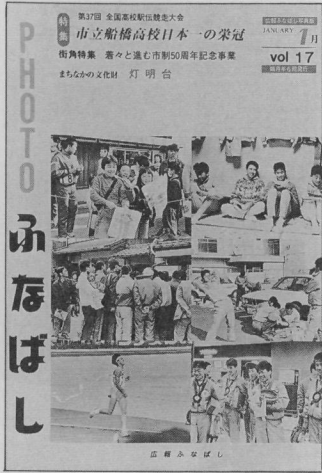
昭和61年3月編集 Vol.12  
市内9本目の鉄道JR京葉線が開通



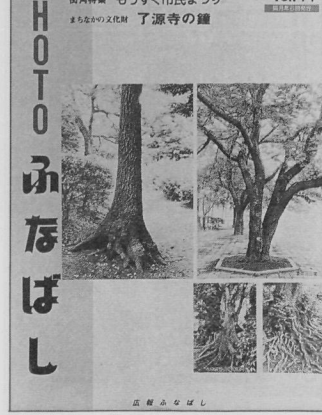
昭和61年11月編集 Vol.16  
ハイワード市と姉妹都市提携



昭和61年5月編集 Vol.13  
市内には51もの河川がありました



昭和62年1月編集 Vol.17  
市船が全国高校駅伝で見事日本一！



昭和61年7月編集 Vol.14  
緑のまちづくりに力を入れています



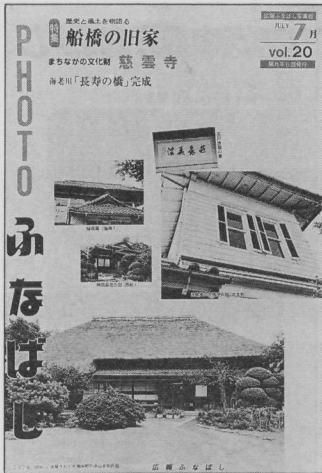
昭和62年3月編集 Vol.18  
市制50周年記念号



昭和63年2月編集 Vol.23  
甲子園初出場の市船野球部特集号



昭和62年11月編集 Vol.22  
市内の各神社で行われる祭りを紹介



昭和62年7月編集 Vol.20  
船橋の旧家を通して歴史風土を紹介



昭和62年5月編集 Vol.19  
JR船橋駅の24時間を密着取材

年月日 主な出来事

年月日	主な出来事
昭和59年	4月1日 青少年キャンプ場オープン 社会福祉会館オープン 飯山満公民館オープン 松が丘児童ホームオープン Photoふなばし創刊
昭和60年	1月10日 船橋市緑の基金設立 ホタルの里完成 3月20日 光風みどり園オープン 4月5日 飯山満児童ホームオープン 丸山公民館オープン 9月20日 東葉高速鉄道起工式 10月10日 海老川ジョギングロードオープン 小栗原小全国学校合奏コンクール優勝 市船男子陸上部全国高校駅伝初出場4位
昭和61年	6月 市立船橋高等学校野球大会 10月1日 市船女子陸上部第一回全国高校女子駅伝競走大会初優勝
昭和62年	1月7日 市船サッカー部高校総体優勝 2月21日 津田沼駅北口区画整理事業完成 3月31日 塚田児童ホームオープン 4月29日 隊田センターオープン 7月1日 総合教育センターオープン（視聴覚センター、プラネタリウム併設） 7月24日 市制50周年記念式典 8月25日 海老川橋除幕
昭和63年	3月5日 小栗原小TBSこども音楽コンクールで最優秀賞 11月15日 市船再開発事業都市計画決定 12月6日 習志野台第二ミニバスケットボールで全国優勝
昭和64年	1月7日 昭和天皇崩御
平成元年	1月17日 三田中全国学校合奏コンクール最優秀賞 4月6日 オーデンセ市（デンマーク）と姉妹都市提携 5月14日 市場20周年記念祭 6月1日 大穴市民プールオープン 6月31日 三咲公民館・児童ホームオープン 6月1日 勤労市民センターオープン 6月6日 夏見ハイパス完成 7月7日 鷹匠橋除幕 7月15日 市民の声を聞く課設置 9月1日 南部清掃工場本稼働 10月2日 総合窓口スタート 10月8日 市船・モロ・高校（ハイワード市）と姉妹校提携 11月8日 八木が谷市民の森オープン 12月1日 市船女子陸上部第一回全国高校女子駅伝競走大会初優勝
平成2年	1月14日 ワンバク王国フィールドアスレチックポイント数で日本一 16日 三田中全国学校合奏コンクールで2年連続優勝の記念演奏会

**Photo ふなばし**

市立看護専門学校

街かど看板ウォッチング

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.45

**Photo ふなばし**

フナバシストーリー

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.44

**Photo ふなばし**

船橋駅北口駅前広場

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.43

**Photo ふなばし**

船橋駅北口地下駐車場完成

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.40

**Photo ふなばし**

市内の様々な坂道を探訪

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.27

**Photo ふなばし**

海老川の橋づくり

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.26

**Photo ふなばし**

西安市と友好交流促進合意書に調印

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.25

**Photo ふなばし**

小栗原小の活躍とその練習風景

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.24

**Photo ふなばし**

福祉と緑の都市を宣言

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.51

**Photo ふなばし**

オーデンセ市の文化使節団が来船

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.50

**Photo ふなばし**

導入された高規格救急車のすべて

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.49

**Photo ふなばし**

船橋のリサイクル活動の特集

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.47

**Photo ふなばし**

環境先進都市、南部清掃工場が稼働

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.33

**Photo ふなばし**

オーデンセ市と姉妹都市提携

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.31

**Photo ふなばし**

文化・スポーツで活躍する船橋っ子

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.29

**Photo ふなばし**

変わりゆく船橋北口を紹介

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.28

**Photo ふなばし**

親善使節団300人が西安市を訪問

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.58

**Photo ふなばし**

船橋二和高校が高校演劇日本一に

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.57

**Photo ふなばし**

立体化される京成本線の踏切の特集

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.56

**Photo ふなばし**

市船女子陸上部が駅伝で全国優勝

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.53

**Photo ふなばし**

姉妹都市ヘイワード市との交流

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.38

**Photo ふなばし**

船橋の緑の施策を紹介

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.37

**Photo ふなばし**

特集写真で広報コンクール日本一に

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.35

**Photo ふなばし**

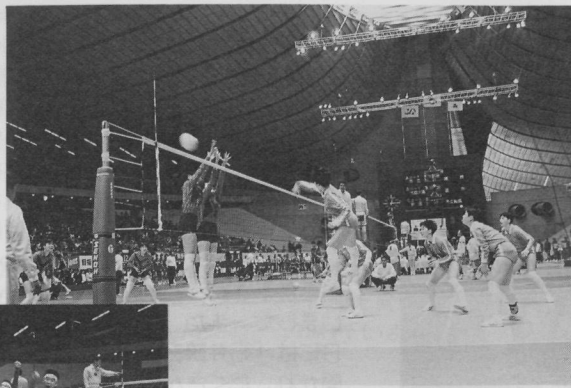
特集で深夜の船橋の様子を取材

●市立看護専門学校  
●市立看護専門学校  
●WE ARE IN FUNABASHI  
●アトリエ訪問 ●サークル通信

vol.34

年月日	主な出来事
平成6年	松ヶ根部屋土俵開き 宮本・古和釜町線一部開通 テレポートモテル都市に指定される 京葉線全線開通 市船男子バレー部春高校バレー初優勝 65歳以上の人口7%を越え高齢化社会となる 大穴市民の森・丸山市民の森オープン 新高根公民館・児童ホームオープン 海老川・長津川が建設省「ふるさとの川 モデル河川」整備事業に認定される 広報ふなばし再生紙使用スタート 葛飾公民館オープン 生きがい福祉事業団10周年 津田沼駅前連絡所業務開始 船橋北口地下駐車場完成 三田中学校全国学校合奏コンクールで3 年連続最優秀賞
平成5年	小栗原小TBSこども音楽コンクールで 日本一 新基本計画「ふなばし未来2000」が スタート 公文書公開・個人情報保護制度スタート 市立看護専門学校開校式 船橋北口おまつり広場完成 医療センターMR・リハビリ棟完成 薬田公民館・児童ホームオープン 西浦・藤原町線開通 高齢化社会対策推進本部設置 都市デザイン委員会発足 県立船橋二和高校演劇部日本一 船橋女子合唱団日本一 古和釜中女子バスケットボール部日本一 北図書館完成 在宅医療・介護支援センタースタート 農業センターオープン 住民票自動交付システムスタート 三田中学校合奏コンクールで4年連 続最優秀賞
平成4年	牧の里公園、藤原市民の森オープン 二俣立上り車線完成 海浜公園温水プールオープン 市立看護専門学校で初の戴帽式 消防局に救急救命士1号が誕生 太田橋除幕（海老川13橋完成） デンマーククワアール（8月2日） 有森緑地フェスティバル五輪で銀メダル 市船女子 高校総体400リレーで優勝 海浜公園プール入場者100万人突破 北部老人福祉センター等複合施設起工式 福祉と緑の都市宣言 二和出張所オープン 第一回介護機器展開催（4日） 第一回都市デザインコンクール スポーツ健康都市宣言10周年記念スポー ツ健康の祭典 オーデンセ市で船橋フェア開催（31日） 消防局特別救急隊発足 消防局救急ステーション完成 法田中が全日本吹奏楽コンクールで金賞 市役所の完全週休二日制スタート
平成3年	船橋スクエア21ビル竣工 市民ギャラリー、茶華道センターオープン 京成本線連続立体交差事業起工式 消防音楽隊創立30周年 消防の歌「きつとあなたを守りたい」 本町駐車場オープン ワンパク王国 入場者10万人達成 市船野球部選抜甲子園に2度目の出場 ドクターカーが24時間体制でスタート 消防指令センター完成 公共下水道高瀬処理区の建設が本格着工 ごみ焼却灰再利用実験工場が稼働 中学校給食が3校でスタート 松が丘公民館オープン （財）船橋市文化・スポーツ公社設立 市船野球部 夏の甲子園初出場へベスト4 環境共生モデル都市に指定される 身体障害者福祉作業所・福祉ホーム完成 海神児童ホームオープン 西安市親善使節団300人派遣（27日） 西安急病診療所 開設二十周年 高瀬下水処理場が着工
平成2年	3月10日 総合体育館オープン 市立看護専門学校第一回卒業式
平成元年	1月13日 船橋二和高校演劇部 3月3日 船橋二和高校演劇部 5月5日 船橋二和高校演劇部 7月7日 船橋二和高校演劇部 9月9日 船橋二和高校演劇部 11月11日 船橋二和高校演劇部

春の高校バレーに男女アベック出場  
市立船橋高校バレーボール部



2回戦で安田女子高(広島)にストレート勝ち

日川高校(山梨)に勝ち2回戦へ

3月20日から代々木第一体育館で開催された、第25回全国高校バレーボール選抜優勝大会に、千葉県代表として市立船橋高校が男女アベック出場(男子は2年ぶり8度目、女子は6年連続7度目)しました。男子は、2回戦で優勝候補の東海大第四高(南北海道)に0対2で、女子は3回戦で強豪の共栄学園(東京)に1対2で惜敗しましたが、会場の応援団からは惜しみない拍手が送られました。

第12回 小学生・女子駅伝競走大会



一斉にスタートを切った小学生男子の部

力走する選手の皆さん

2月11日、運動公園周回コースで、小学生と女子の駅伝競走大会が行われ、6部門に1131人が参加しました。応援の皆さんの熱い声援を受けながら、抜きつ抜かれつとのデッドヒートを展開。優勝チームは次のとおりです。一般-FJ・C、高校一市立船橋、中学一海神、小学生女子一法典、小学生男子一市場、小学生クラブ一八栄男子ミニバスケ

ふなばしっ子たちの活躍をたたえて  
平成5年度文化・スポーツ振興基金表彰式



大橋和夫市長から一人ひとりにメダルや記念品が手渡されました

2月17日、市役所10階で平成5年度船橋市文化・スポーツ振興基金の表彰式が行われました。これは、文化・スポーツの県や全国大会などで、優秀な成績を収めた市内の小・中学校や養護学校、高校の生徒の皆さんの活躍をたたえるものです。今年度も船橋っ子たちは数々の大会で大活躍、9つの大会で日本一に輝くなど、45校697人の皆さんが受賞し、大橋和夫市長からメダルや記念品が手渡されました。



「輝かしい伝統を誇りに思います」と祝辞を述べた大橋和夫市長

3月23日、市立船橋高校体育科創設10周年記念祝賀会が開催されました。体育科は昭和58年4月に、スポーツ健康都市宣言に先立って創設され、以来、駅伝やバレーボール、サッカー、野球など様々な大会で活躍してきました。祝賀会は教育関係者をはじめ、活躍を支えてきた父母の皆さんなど約120人が集まり、盛大に行われました。

市立船橋高校  
体育科創設10周年

スポーツ・文化

第1回生36人が大きな期待を胸に  
市立看護専門学校初の卒業生



様々な思いを込めて「蛍の光」を歌う卒業生の皆さん

答辞を読み上げる石川美奈さん

看護婦不足を解消し資質の高い看護婦を育てようと、市立としては県内で初めて平成3年に誕生した船橋市立看護専門学校で、3月10日、開校後初めての卒業式が行われ、晴れて36人が卒業しました。式には大橋和夫市長、高木恒雄市医師会長、市内医療関係者の皆さんを来賓に迎え、木村康校長が卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡しました。木村校長は「これで足りず、質の高い看護婦を目指してください」と激励しました。これに答えて、卒業生代表の石川美奈さんは「向上心を忘れず、日々努力していきます」と涙をぬぐいながら答辞を述べました。

祝・卒業

仲間と生きがいができました  
老人大学修了式



より充実した人生を送ります

3月26日、船橋市役所11階の大会議室で、老人大学の修了式が行われました。今回卒業するのは第11期生の209人。生きがいのある豊かな人生を送るために、スポーツや園芸などを1年間学んだ皆さんは、笑顔で卒業しました。

地域のコミュニティリーダー  
スポーツ健康大学第8期生修了式



地域のリーダーとして今後の活躍が期待されます

3月12日、船橋市消防局5階の講堂で、スポーツ健康大学第8期生54人の修了式が行われました。式に出席した市川恭一郎教育長が「この大学で学ばれたことを、地域のまちづくりに生かしてください」とあいさつ。スポーツ健康大学は、昭和61年に開校して以来、7期までに合計361人の皆さんが卒業し、それぞれの地域のイベントやスポーツ大会などでコミュニティリーダーとして活躍しています。

地震の備えは大丈夫?  
防災フェアふなばし'94



スポーツ広場で行われた初期消火訓練



震度7の地震を体験

3月6日、市民文化ホール前広場などで、防災フェアふなばし'94が行われました。今年のテーマは「地震の備え“あなたの家は、大丈夫ですか”」。非常食やパネル展示をはじめ、地震車の体験、心肺蘇生法などのコーナーが設けられ、参加者の皆さんは、改めて災害の恐ろしさを実感していました。

フェア

新しい出会いのはじまり  
第8回生涯学習フェア



「ひとりで生きられますか」をテーマに開催された第4分科会



三田中学校管弦楽部による記念演奏会も開かれました



体験談などを織り混ぜた石川牧子さんの講演会

2月19日、第8回生涯学習フェアが市民文化ホールと中央公民館で開催されました。「新しい出会いのはじまり」をメインテーマに、「知っておきたい私の健康」や「アジアの中の日本」など4つの分科会と三田中学校管弦楽部の記念演奏会が開かれ、1000人以上の方が参加しました。また、3月26日には、宮本公民館で日本テレビアナウンサーの石川牧子さんの講演会も行われました。

寺なかの文化財  
無量寺 (米ヶ崎町)

低地である。湿地である。田んぼを盛り土して寺の敷地としたにちがいない。昨夜は少雨だったのに、境内のあちこちに水溜りができている。処々で靴がもぐもぐ。  
門前、といっても山門もないけれども、寺の、といっても赤いトタン屋根の庵堂だけども、その出入口付近、早春の野の草、ホトケンザ、イヌフグリ、スカンボなどに混じって、セリがたくさん生えている。セリは湿地の植物である。ふと、春先の水を抜いた田んぼの畦にしゃがみ込んでセリ摘みした遠い少年の日のことを思い出したりした。  
お堂はお世辞にも決して大きくは云えないが、正面に懸かる金文字の「無量寺」の扁額は立派だ。そして寺名は無量寺だそうだし、つまり真宗寺院かと思つたら、真言宗なんだそう。軒先に小さな梵鐘が懸かる。  
近づいて見上げて銘文を拾う。何と文政年間の作。撞座がだいぶ潰れている。そこで私の空想は広がる。小さなムラの小さなテラに、小さなカネがどいた。そのカネが初めてテラに吊された日、ムラは総出て朝からテラに集まり、住職さんをまん中に、カネをふり仰いで喜び合った。カネは何度も突かれ、そのたびにその音色にうっとりし、ムラは日の暮れまで明るい笑い声に満たされていた。  
(文・大木 勲)

「無量寺」の扁額

扁額と梵鐘がかけられた庵堂

世界の笑顔が大集合  
第6回 国際交流のつどい

2月5日、中央公民館で船橋市国際交流のつどいが開催されました。船橋で生活、あるいは働いている外国人の皆さんと、市民の皆さんとの交流を図るために行われたもので、当日は、33か国約600人の皆さんが集まりました。第1部では、茶道や着付けを楽しむ日本文化体験コーナーや、日本語教室の生徒さんによる日本語スピーチコンテスト、日本の遊びコーナー、外国人と料理を作るコーナー、ふるさと国際電話コーナーと盛りだくさんの内容に参加した皆さんも大喜び。この後行われた懇親会では、参加者の手で作られたエスニック料理を食べながら、言葉や文化の違いをこえた交流が行われていました。



日本語がとても上手になりました



料理コーナーで作られたエスニック料理はパーティーでも大好評



着物にもチャレンジ

入場者20万人達成  
プラネタリウム館

2月20日、プラネタリウム館（東町）の入館者が20万人を突破、記念のセレモニーが行われました。20万人目になったのは、芝山東小学校4年の西村香織さん。色々な記念品が贈られ「家族でよく利用していますが、20万人目には選ばれてびっくりです」と喜んでいました。また、会場に訪れた皆さんには星座早見盤などが配られました。



20万人目選ばれた西村香織さん（左から2人目）とご家族の皆さん

船橋市平和講演会  
海老名香葉子氏に感動の拍手



平和の大切さを訴える海老名氏



会場は超満員

2月16日、勤労市民センターで平和講演会が開催されました。講師は、エッセイストの海老名香葉子さん。「精いっぱい 生きなや」平和の礎」と題して、戦争中を過ごした少女時代から現在までの半生を語り、平和と肉親のきずなの大切さを訴えました。戦争の悲しみに声を詰まらせ、苦労話をユーモアたっぷりに話す海老名さんの講演に、満員の会場から感動の大きな拍手が送られました。



お母さんと楽しいひとときを過ごしました

海浜公園温水プールに  
障害を持つ子供たちを招待

3月2日、海浜公園で「温水プールに親しむ集い」が行われました。これは、体に障害を持つ皆さんにプールを楽しんでもらおうというもので、東簡易マザーズホームなどに通う子供たちが、お母さんのエスコートで思いっきりエンジョイしていました。



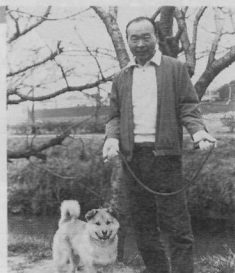
天然記念物の北海道犬です。名前は火籠。ウチの娘が付けました。牧野盛記さん(夏見4)

ピーコです。捨て犬だったのを拾って育て始めてもう8年近くになります。永田せつ子さん(行田1)



幸福という意味を込めてジョイと名付けました。ヨークシャテリアです。永野忠松さん(高根台4)

うちのボチです。子供のころから欲しかったのでとてもカワイイです。林佳美さん(山手3)

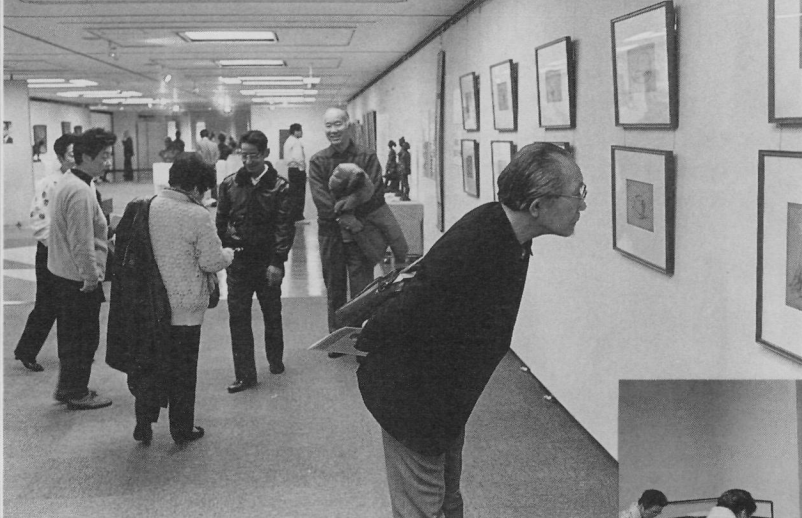


名前はチョイナです。子供が欲しかったので飼いました。今10か月ぐらいです。密本棋四郎さん(駿河台1)

市民ひとことインタビュー  
あなたの愛犬を紹介してください

市民ギャラリー開設一周年を記念して  
船橋ゆかりの芸術家 石井鶴三展

3月10日から21日まで、市民ギャラリーの開設一周年を記念して、船橋ゆかりの芸術家石井鶴三の没後20周年展が開催されました。石井鶴三は、明治から昭和にかけて彫刻、油絵、日本画など幅広い分野で独自の世界を創造した日本を代表する芸術家。多感な少年時代を船橋で過ごし、船橋を心の故郷にしています。この展覧会では彫刻、油絵など88作品のほか、船橋とのかかわりを示す資料も展示され、訪れた皆さんの関心を集めていました。また、12・13日にはお茶会が、19日には「石井鶴三と彫刻」と題した講演会が開かれ、たくさんの方が一周年を迎えた市民ギャラリーの企画展を味わっていました。



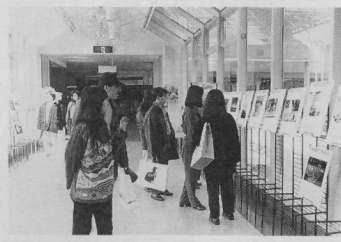
会場に訪れた皆さんは、少年時代のスケッチや船橋とのかかわりを示す資料に興味深く見ていました



茶道連盟の協力で行われたお茶会

カメラに収めた船橋の観光スポット  
観光写真コンクール

第12回船橋市観光写真コンクールが、ららぽーとクリスタル広場で行われ、応募作品124点が3月4日から17日まで展示されました。「ふなばし」をテーマとして、市内の自然や年中行事などをとらえた力作に、多くの皆さんが足を止めていました。



皆さんの投票で市民賞も選ばれました

芸術



文学賞を受賞した斎藤厚子さんと浅野竜さん(左)

市民の文芸作品が集結  
第6回 船橋市文学賞が決定

市民の力作229点を展示  
第15回 船橋市写真展

3月23日から27日まで市民ギャラリーで、船橋市写真展が開催されました。市内のアマチュア写真家の皆さんの作品など合計229点が展示され、会場には写真愛好家の方など多くの皆さんが訪れ、1点1点興味深く見入っていました。



写真家の佐々木真氏や北井一夫氏による作品の解説会は大好評でした

ふなばしの民話

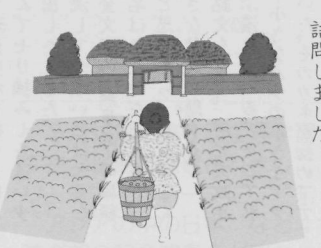
重右衛門ばなし(七)  
南瓜の施肥

文・村上昭三



飯山満町3丁目にある王子神社の境内

印内の重右衛門は、上飯山満村の本郷のある地主の家で暮らしていました。この家の旦那は、人使いの荒い人でした。ある日の朝、重右衛門は井戸端で顔を洗っていました。そこに、産土様のお参りから戻って来た旦那が、お世話を焼いて来て、お茶を淹れて来て、「重右衛門、朝飯前に屋敷の前の畑の南瓜に下肥(人糞尿)をやったか。じやがの、南瓜は肥えけりするで、根元から離してやってくれよ。ええな」と、脊中越しに突然、大声で言い付け、きつさと家の中に入って行きました。この言い付け方に、重右衛門はムツとしました。しかし、その場は素直に二つの肥桶を持ち、畑の隅の隅から下肥を汲み上げました。ところが、一杯になつた肥桶を担ぎ、南瓜畑を通



すると、重右衛門は旦那の顔を見ながら「旦那、南瓜は肥に弱ええから、遠くからやれと言いましたで、ここならええと思つて撒きましただ」と澄ました顔で答えました。これを聞いた旦那は重右衛門のへそ曲りに気が付き、呆れて怒ることを忘れて、「うわさに聞いていたが、お前という奴は、本当に困つた男じゃのー」と、暫くの間、低い声でつぶつぶ言っていました。それから、旦那は自分で来て下肥の後始末をしたという事です。また、この度の過ぎる意地悪をした重右衛門は、朝飯抜きのうえ、即刻お払い箱になつたという事です。

り過ぎ、そこから二〇間も離れた母屋の戸口の前まで来て下しました。そして、その下肥を、戸口の辺りに一面に撒きました。下肥の匂いは、すぐに母屋の中に入りました。この強烈な匂いに、驚いて飛んで出て来た旦那は、この光景を見た瞬間、顔を真っ赤に染め「重右衛門、この馬鹿げたことは、何の真似だ」と物すごい剣幕で怒鳴り、詰問しました。

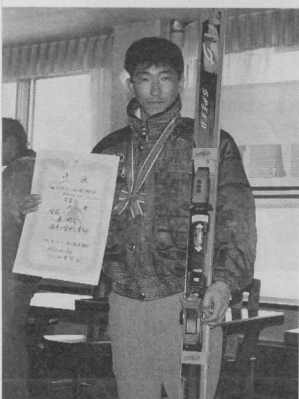


大人にだって負けないぞ  
少年少女囲碁大会

大人顔負けの対局が繰り広げられました

3月20日、東部公民館で少年少女囲碁大会が開催されました。これは、子供たちに囲碁を楽しみながら、棋力の向上とマナーを学んでもらおうと行われているものです。当日は、小学校入学前のチビっ子から高校生まで約70人が参加。初心者から6段までとレベルも様々ですが、碁盤を見つめる目は真剣そのもの。熱戦の末、田喜野井小5年の新垣さんが市長賞に輝きました。

時速200kmの世界に魅せられて  
全日本スピードスキーで準優勝の川又さん



目標は233.6キロの世界記録更新だそうです



スタート前に集中する川又さん

新幹線並みの速度でゲレンデを滑走し、その時速を競う全日本スピードスキー選手権大会が群馬県谷川岳天神平スキー場で開催され、前原東3丁目の川又寛さん(ザウス勤務)が151.515kmで準優勝に輝きました。川又さんは、世界歴代30位、日本歴代2位の212キロという記録を持つスピードスキーの日本代表選手で、ヨーロッパなどで開催されているワールドカップを転戦しています。



心地よい潮風のなか潮干狩りを楽しませるか

ふなばし海浜公園  
潮干狩りが始まります

4月16日(土)～6月26日(日)  
潮回りのよい日に開催しますので、開催日時を確認してお出掛けください。  
料 金: こども(4歳以上) 200円  
大 人(中学生以上) 400円  
※貝の持ち帰りは、200gで100円、1人4kgまでです。  
貸熊手: 200円(返却時100円返し)  
駐車場: 普通車500円、大型車2,000円

潮干狩り情報  
テレホンサービス  
37-2525

おじいちゃん、おばあちゃんありがとう  
習志野台第二小と白梅会の皆さんが交流



習志野台6丁目の老人クラブ「白梅会」の皆さんと子供たちの世代をこえた交流が行われました



お手玉に興味津々の子どもたち

2月25日、習志野台第二小学校で、白梅会の皆さんと子供たちとの交流会が行われました。1年生を代表して市川達郎君が「いつもたくさん雑巾をいただいてありがとうございます」とあいさつ。1年生全員でダンスや合唱を披露したり、白梅会の皆さんとあやとりなどの昔遊びをしたりと、楽しいひとときを過ごしました。



白熱した試合が続いたメインアリーナ

総合体育館で3月26日に開催された大会には、市内31チーム約500人が参加し熱戦を展開。メインアリーナは、選手や家族の皆さんで終日熱気に包まれていました。高学年の部は、オールスターズB(高根小学校)が、また、低学年の部は金杉台ドッジボール同好会がそれぞれ優勝しました。

船橋市長杯争奪第2回  
小学生ドッジボール選手権

ワンパク王国  
ワンパクっ子さくらまつり

3月21日ワンパク王国で、ワンパクっ子さくらまつりが行われました。水上ステージでは、「それいけ!アンパンマンショー」が行われ、子供たちも大喜び。また芝生広場では5人1組で競う紙ひこうき飛ばし大会が行われ、お父さんも大声援。たくさんのご家族連れでにぎわいました。



人気キャラクターのサイン会に大勢の皆さんが詰め掛けました

問 57-6627

全国コンクールで大活躍  
第4回音楽優秀校記念演奏会

全国でも非常に高い水準にある市内小・中学校の音楽活動。平成5年度も多くの学校が様々な全国コンクールで優秀な成績を収めました。これを記念して、3月20日、市民文化ホールで第4回音楽優秀校記念演奏会が開かれました。出演したのは、法典東小学校合奏クラブ、法田中学校吹奏楽部、塚田小学校合唱部、習志野台中学校合唱部、小栗原小学校合奏クラブ、御滝中学校管弦楽部の皆さん。大人顔負けの演奏が披露されるたびに、会場からは惜しめない拍手が送られていました。



塚田小学校合唱部の皆さん

法田中学校吹奏楽部の皆さん

100人を超える参加者  
ふなばし女性囲碁のつどい



熱戦が展開された自由対局

平成5年アマチュアチャンピオンの山下千文さんによる指導碁

3月5日、茶華道センターでふなばし女性囲碁のつどいが開催され、女性囲碁ファン約100人が詰め掛けました。山下功先生による大盤解説をはじめ、有段者による指導碁や初心者向けの入門講座、そして、自由対局のコーナーなど内容も盛りだくさん。参加者の皆さんは、それぞれの力量に合わせて思い思いに囲碁を楽しみ、会場は終始熱気に包まれていました。



228人の皆さんが優雅な調べを奏でました

3月6日、市民文化ホールで第16回船橋市三曲祭が開催されました。琴、三味線、尺八によるこの演奏会、「春の海」をはじめ、「緑のプレリュード」など季節感あふれる22曲が披露されました。会場を訪れた皆さんは、日本の伝統的な楽器が奏でる優雅な音色を、心ゆくまで味わっていました。

箏・三絃・尺八のしらべ  
第16回船橋市三曲祭

街 まちかど 角  
ホットニュース

皆さんからの情報をお待ちしています。  
▷ 広報課 ☎ 36 2015

第16回 船橋市華道連盟  
船橋いけばな展



見事な作品が並び、一点一点熱心に見入っていました

3月2日から7日まで、船橋アート・フォーラムで船橋市華道連盟のいけばな展が開催されました。昭和53年に100人足らずで発足した華道連盟も今年で16年目を迎え、会員も500人。様々な流派が集まって、日本の伝統美を競い合うように、見事な作品が会場いっぱいに並んでいました。

船橋女子専門学校 感動の卒業式  
卒業記念のファッションショー



恒例となった卒業記念コレクション



満員の会場に熱い声援が飛び交いました

3月4日、市民文化ホールで船橋女子専門学校の卒業記念ファッションショーが行われました。今年の卒業生は153人。商業コースの皆さんが音響や照明を担当し、服飾デザインコースの皆さんが自作の衣装を身に付けて次々に登場しました。最後にウエディングドレスが披露されると、会場に詰め掛けた在校生や父母の皆さんから一段と熱い声援や拍手が送られ、感動のフィナーレとなりました。



**ART 陶芸**  
**実用的な食器や花器を創っています**  
 加藤 智子さん (三山3)

「9年前に、夫婦で念願の小さな陶房を作りました。」という加藤さん。陶芸に興味を持ち、12年程前に葛飾の宮川憲一先生のお宅で指導を受けながら、「約2年間好きな時間に好きなだけ陶芸に取り組むことができました。」そこでご主人とも出会ったそうです。結婚して船橋に住み、電気窯を購入して陶房を作りました。庭のハナミズキにちなんで「みずき窯」と名付け、4年前から近所の仲間

と一緒に陶芸を楽しむようになり、平成4年には初めての「みずき窯作陶展」を開いたそうです。作品は主に、日常的な食器や花器などで、親類や友人にプレゼント。「プレゼントした物が実際に使われているのを見ると、とてもうれしくなります。」今度は市民ギャラリーで2回目の作陶展を開きたいと、県展にも出品してみたいと穏やかな口調で話してくれました。



**洋服は、デザインと素材で選びます**  
 佐藤 美和さん (本中山3)

淡い茶色のニットスワットに黒いパンプス、ロングのストレートヘアをそよ風になびかせた佐藤さんは、二十歳のお嬢さん。普段はGパンに白いブラウスなど動きやすい洋服が多いそうです。買った物は主に船橋駅周辺で。「赤い洋服が着てみたいんですけど、似合わなくてグレーやベージュ、紺色のものが多いとか。アクセサリはダイヤのブチネックレスと可愛いゴールドのピアス。指輪は高校生のおときに友達とおそろいで買ったんですよ。」子供が好きなので、栄養士の資格を生かして保育園の仕事に就きたいという佐藤さん。早く自分の家庭を持って、子育てしてみたいと微笑んでいました。



お料理作りが大好きになりました



楽しく作ることが大事です

**八木が谷公民館 金曜料理サークル**

「いつも習っている料理は、おつまみやご飯のおかず、お菓子なんですが、家でも手軽に作れるのがうれしいですね。」と代表の斉間さん。この日のメニューは、しば漬けのり巻、白身魚のやまかけ蒸し、親子焼き、ドライフルーツチョコレートケーキの4品でした。講師は、市内の様々な公民館で料理を教えている木村信子先生です。

8年程前に、公民館主催の料理教室が開かれたことがきっかけで発足したこのサークル。毎月第4金曜日に楽しく活動しています。「36人の定員が現在2人欠員なんです。お料理に興味のある方は、ぜひご連絡ください。」

(連絡先: 斉間恵子 ☎48-6191)



練習時間が豊富です



モットーは「安く楽しく」

**運動公園 コスモテニスクラブ 硬式**

スマッシュが決まっても、ボレーが失敗しても、和気あいあいと明るい雰囲気なのが、コスモテニスクラブです。モットーは、とにかく「安く」「楽しく」。入会金500円、会費は3か月2000円で、練習日は、土・日曜日と祝日、1日4時間は練習するそうです。練習以外にも、ピクニック・テニスや合宿、スキーなど、年間を通じて様々な行事を行っています。コーチでもある会長の小川さんは、「自由な雰囲気を中心に大切にしています。練習は厳しくありませんが、練習時間が豊富なためか、みんな知らず知らずのうちに上達していますね。」(笑)とクラブの特徴を教えてくださいました。

(連絡先: 小川芳雄 ☎46-6536)

**丸山公民館 丸山歌謡同好会**

講堂内に元気の歌声が響き渡り、一人ひとりが真剣に歌に取り組んでいる姿が目には写りました。歌謡同好会が発足したのは平成元年。以来、クチコミで輪が広がり、現在の会員数は140人を超えています。曲目は演歌が中心。レッスンは、発声練習から始まり、全員と一緒に歌ったあと、ひとりずつの指導になります。「個人個人の音感を大切に、わかりやすい指導で、みんなから楽しみにしてもらえるように心がけています。」と指導にあたるプロ歌手の丘千枝先生。会の雰囲気を大切にしているこの同好会。あなたも気軽に歌にきませんか。

(連絡先: 谷口伊三郎 ☎38-7784)



老人ホームなどへの慰問にも取り組みたいです



歌に自信もでき楽しくなります

**あい・らぶ・ふなばし**



**人情味があって大好きなまちです**  
 アンディ・ユーエンさん (西習志野2)

「船橋は人情味があって、とても好きなまちです。」アンディさんは、カナダのご出身で、91年12月に来日して以来船橋に住んでいます。「5年前、市原に1か月ほどホームステイしていましたが、それからずっと日本に住んでみたかったです」とアンディさん。現在市内の英語学校で教師をしています。大の和食党で、洋食に比べて味がき

め細かく、とても口に合っているとか。特に刺身には目が合いそうです。趣味はスポーツ。子供のころはプロのアイスホッケーの選手になるのが夢だったとか。スキーやサッカーなど何でもこなすスポーツマン。「日本は、スキー場が遠くてつませんね」と苦笑。時間を見付けて、空手や陶芸など日本の武道や文化にもチャレンジしたいと目を輝かせていました。

**お店 木遊館**  
 ☎0474(33)8603



倉庫風の建物を訪ねると、深い森を歩いたときのように、あたり一面木の香りがあふれていました。木遊館は、木工作業を楽しむための言わば有料の工作室。のこぎり、電動ドリルといった道具類はすべてそろっていて、木製の家具や玩具などを自由に作るができます。木材は、杉、ひのき、つじ、つばきなどがあり、どれも市価の半値以下。しかも、それらは環境を考慮して間伐材や端材を使用しています。「森林を守るために伐採される間伐材や曲がった木にこそ、世界に二つとない美しさがあります。これを生かすのは、皆さんのアイデア次第ですね。」とおっしゃるのは社長の伊東信行さん。初めての方には、工具の使い方やコツなどを丁寧に教えてくれるそうです。木遊館では、木目を生かしたオリジナルの家具やインテリア小物も販売しています。素朴な作りですが、どれも木の肌肌に触れてみたくなるような、そんな温かみがありました。

**軽費老人ホーム福寿荘 第6回百寿書道展**

2月2日から6日まで、市民ギャラリーで百寿書道展が開催されました。この書道展は、軽費老人ホーム福寿荘で生活している書道愛好家の皆さんに人生を楽しんでもらおうと行われているもので、今年で6回目となります。会場を埋めた力作の数々に来場した皆さんは、一つひとつ興味深そうに鑑賞していました。



味わい深い作品がたくさん展示されていました

**あ と が き**

◇今回の「とくしゅう」は、「photoふなばし」創刊10周年を記念して、「photoふなばし」と一緒にこの10年間の市政を振り返ってみたい。昭和59年、大橋和夫市長の発案で創刊して以来、市政や街のニュースの他、数々の「とくしゅう」を掲載し、市民の皆さんの視覚に訴える「写真版広報誌」づくりに努力してきました。その結果、数々の賞もいただきました。また、たくさんの市民の皆さんに登場していただいたり、大木勲氏や村上昭三氏の協力で、「まちなかの文化財」や「ふなばしの民話」というコーナーも長く連載し、好評をいただいています。さらに、「photoふなばし」は、各町会・自治会の皆さんの協力で市民の皆さんのご家庭に配付されています。このような皆さんのご支援・ご協力があったからこそ、「photoふなばし」がその役割を果たせるものと思えます。改めて皆さんに心からお礼を申し上げます。

**なまえ ムーと 楽しい仲間たち オーナー 近藤美千代さん (本町4)**



ウチの家族全員お見せできないのがとても残念!

私、メス犬のムー。わが家は、ご覧のとおり家族がたくさんいるので、一番年上の私が紹介しま〜す。ご主人は、とても優しい人なんです。捨てられている仲間があると、放っておけなくて、ついついは浜松から連れてきた猫もいるんです。昔ヘミングウェイって偉人がいたけど、猫好きじゃ負けないんじゃないから。だってウチには、ウメを筆頭に猫が15匹、犬が私の他に3匹、コッコちゃんというニワトリが1匹いるんです。だからウチはいつもにぎやかで、鳴き声が絶えないの。みんな仲良しでつい調子に乗り過ぎて、ご近所の植木やお庭にお邪魔してゴメンナサイ。ところで最近、コテツという犬が迷い込んで来たんです。心当たりの方は、ご連絡してくださいね。

**ペットインタビュー**



# 第7回 ヘルシー船橋フェア

骨密度測定コーナーが大人気！

生活習慣  
運動  
調和  
精神



健康運動指導士の荒谷美枝子さんによる講演と実技指導が行われたイベントコーナー

「ヘルシーライフの環境づくり～健康家族の心がけ～」をテーマに、2月18日から第7回ヘルシー船橋フェアが開催されました。会場となった東武百貨店船橋店6階のイベントプラザには、開店と同時に大勢の市民の皆さんが駆け付け、特に骨粗しょう症を検査するコーナーには、受け付けを待つ皆さんが長蛇の列を作っていました。また、消防局救急隊による心肺蘇生法の実演・指導や、体験学習などが行われたイベントコーナーでも、参加者の皆さんは真剣な表情で講師の指導を受けていました。この他、血液検査や体力測定にも人気が集まり、市民の皆さんの健康や医療に対する関心の高さがうかがえる催しとなりました。



保健婦による健康相談コーナー

## 春休み親子施設見学会



テレビふなばし(CATV)を見学する参加者の皆さん

3月30日、春休み親子施設見学会が行われました。朝9時30分にJR東船橋駅をバスで出発した親子39人は、ケーブルテレビ、プラネタリウム館を見学。青少年会館でお弁当を食べた後ゲームを楽しみ、サッポロビール工場も見学しました。日に日に暖かさを増してくる春休みの一日を、親子で楽しく過ごしていました。



スポーツで健康ふなばし  
こんにちは...